

# 製造業グローバル出荷指数（季節調整済）の推移（総括表）

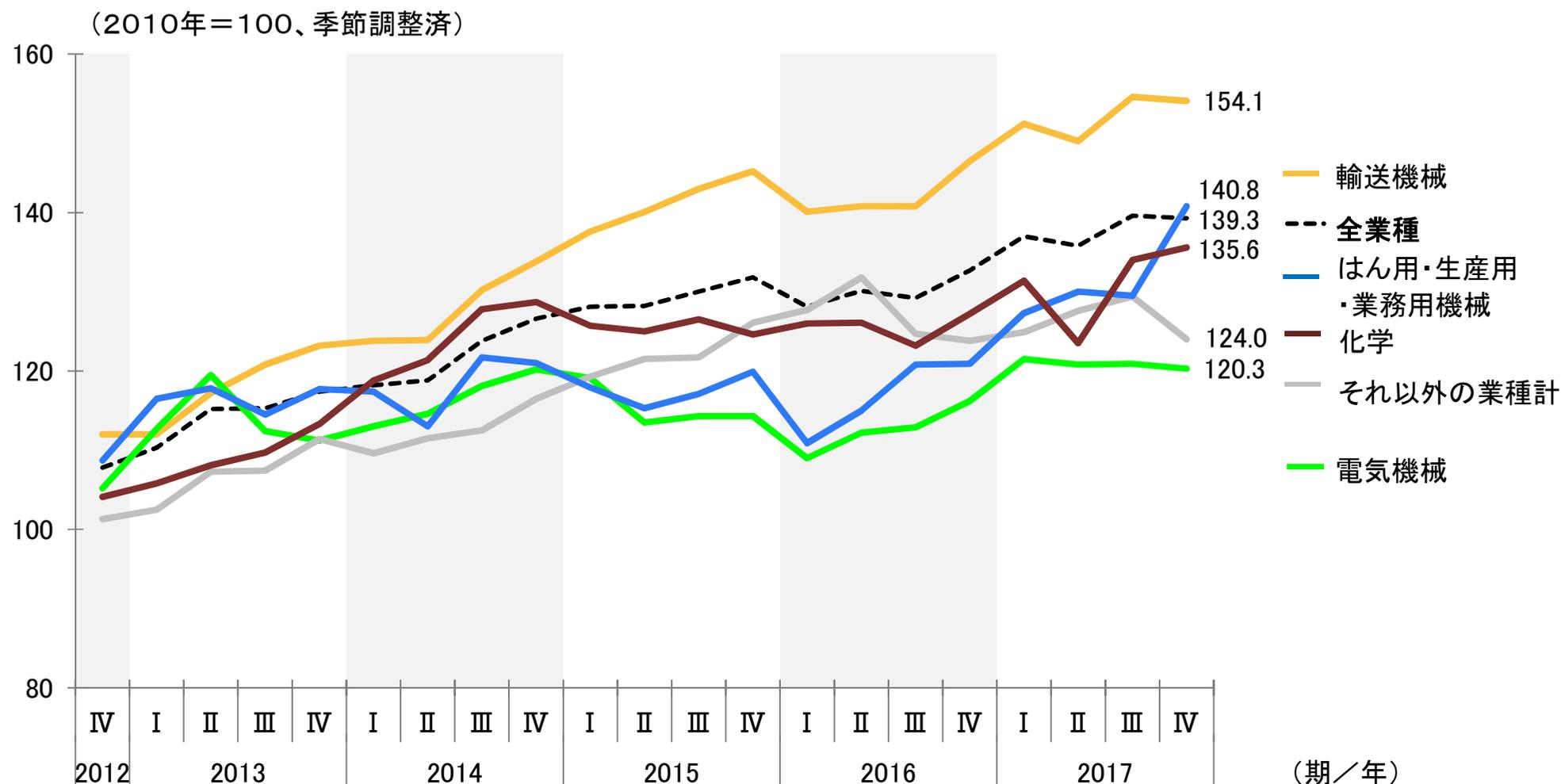
		2016年度	2017年		前期比	
			7～9月期	10～12月期		
グローバル出荷指数		105.7	109.5	110.3	0.7	
国内出荷指数		97.2	100.0	101.1	1.1	
	国内向け	96.4	98.8	99.6	0.8	
	輸出向け	100.4	105.8	107.3	1.4	
海外出荷指数		132.3	139.6	139.3	-0.2	
仕向け先別	自国向け	133.9	145.1	144.5	-0.4	
	日本向け	122.9	125.8	126.1	0.2	
	第三国向け	132.4	136.6	138.2	1.2	
	地域別	中国(含香港)	130.6	140.9	142.2	0.9
		ASEAN4	118.5	128.0	127.5	-0.4
		北米	159.8	155.2	157.8	1.7
		それ以外の地域	120.0	132.8	128.9	-2.9

注1) 各四半期の結果については季節調整済指数、2016年度の結果については原指数。

注2) 国内出荷指数は、「鉱業」を含まない「製造工業」の出荷指数。

# 海外出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

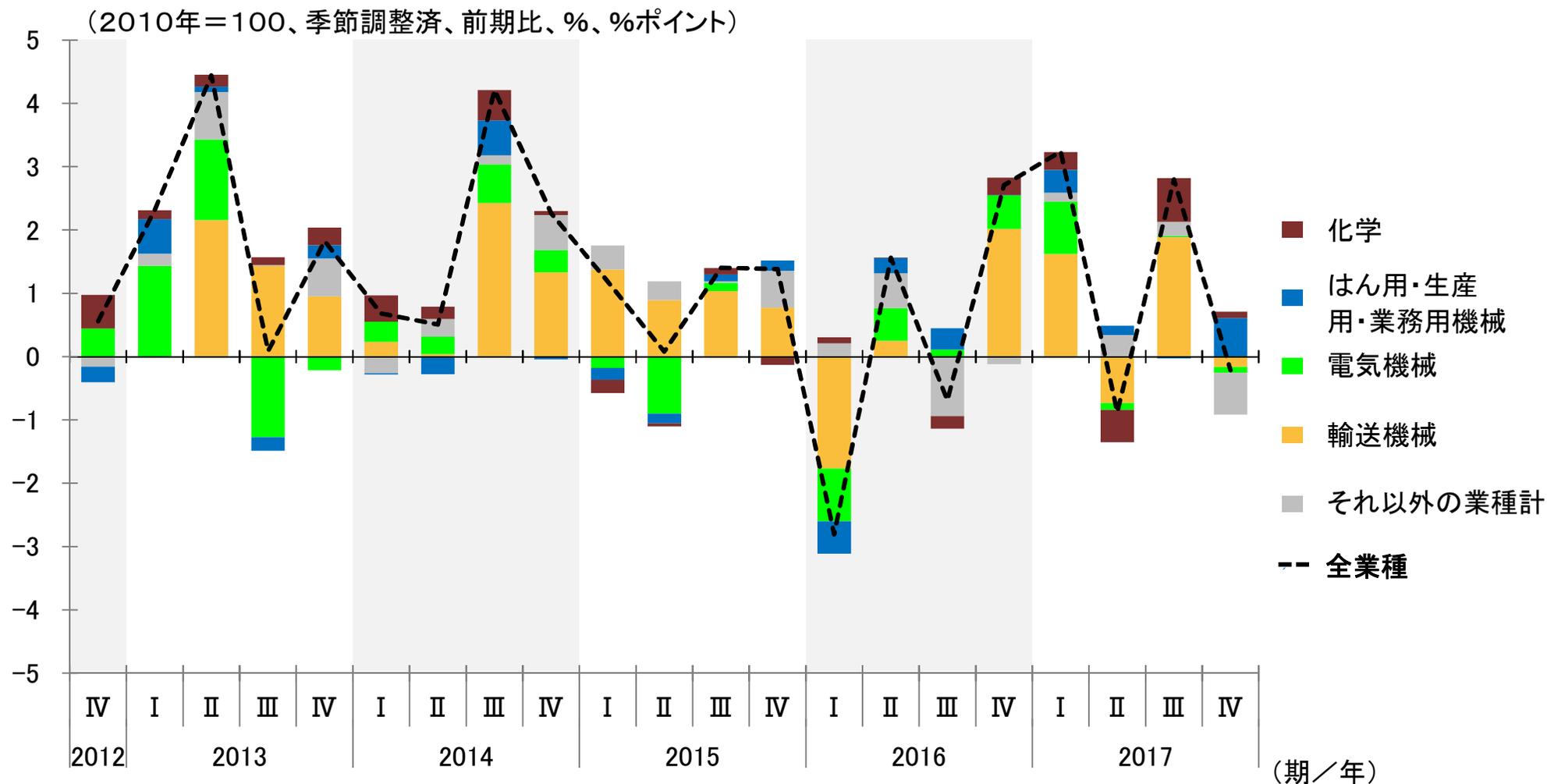
主要4業種のうち、はん用・生産用・業務用機械工業（前期比8.7%上昇）が大きく上昇したほか、化学工業（同1.2%上昇）が上昇。  
一方、電気機械工業（前期比マイナス0.5%低下）、輸送機械工業（同マイナス0.3%低下）が低下。



※業種の内容については、スライド35の「用語の説明」を参照のこと。

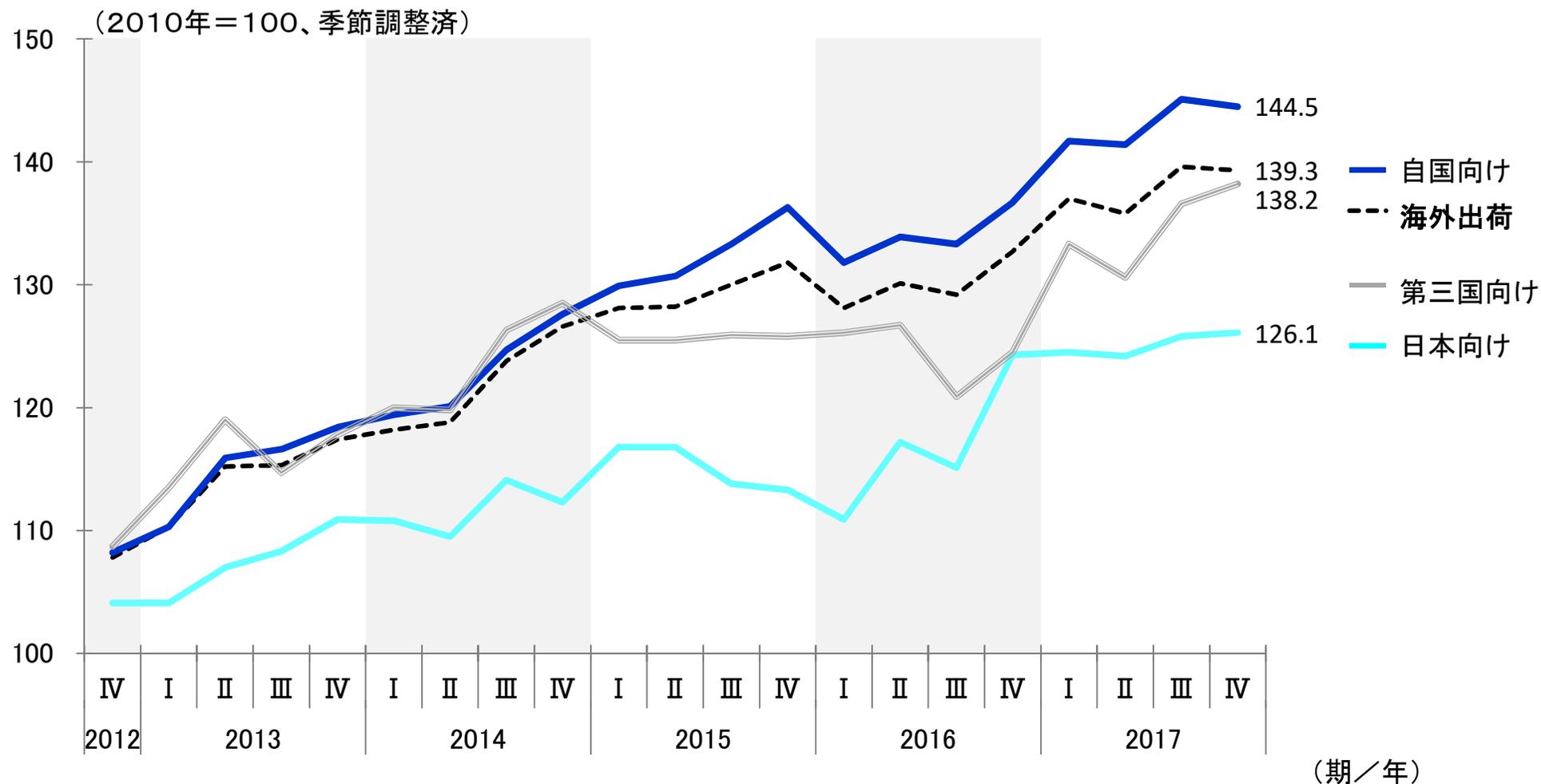
# 海外出荷指数の業種別前期比寄与度

海外出荷全体の前期比マイナス0.2%に対し、「それ以外の業種」がマイナス0.7%ポイントの低下寄与。次いで輸送機械工業がマイナス0.2%ポイントの低下寄与。



# 仕向け先別海外出荷指数（季節調整済）の推移

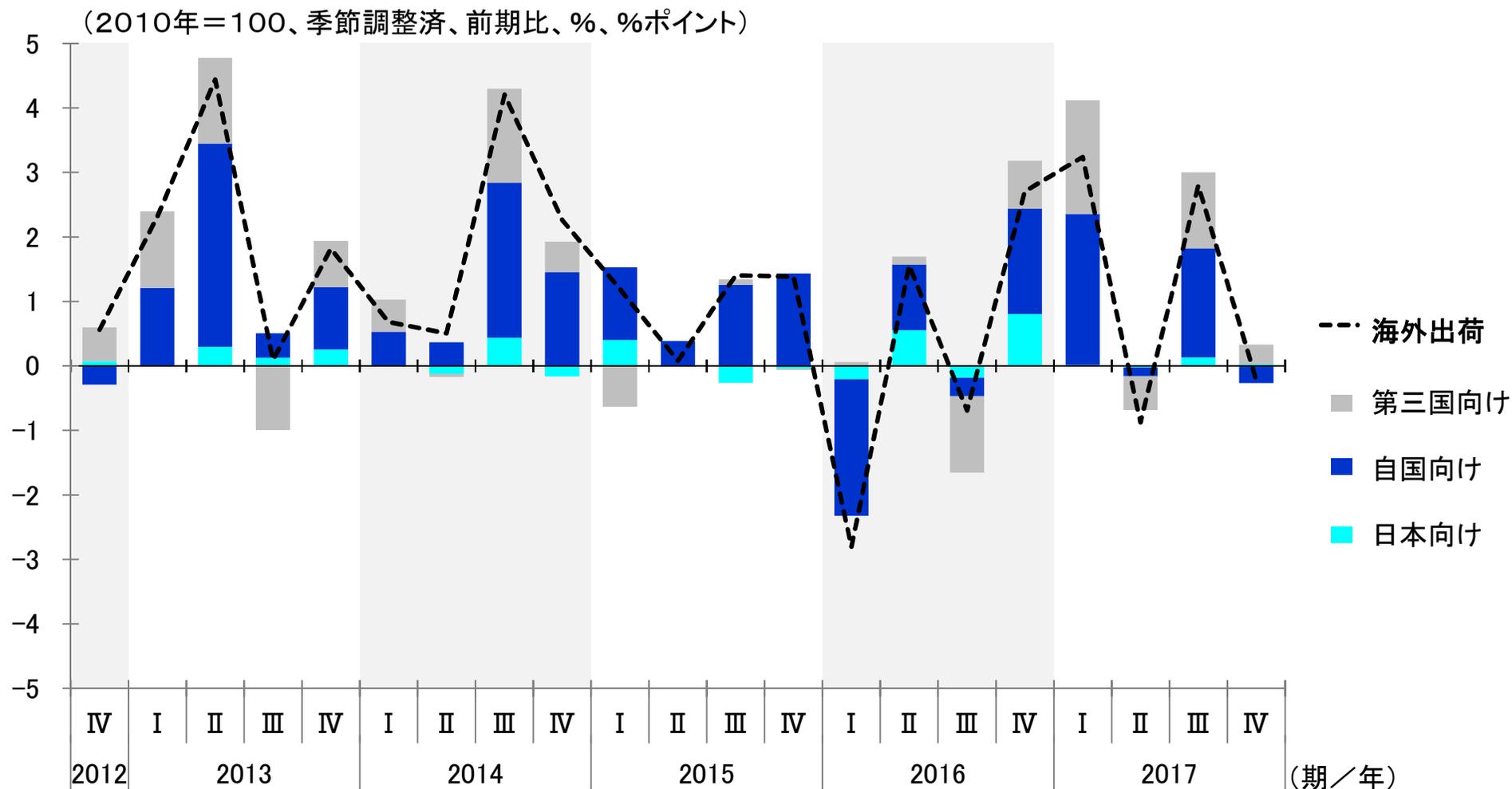
海外現地法人の出荷を仕向け先別に見てみると、「第三国向け」は前期比1.2%上昇、「日本向け」は同0.2%上昇。一方、「自国向け」は前期比マイナス0.4%低下。



※業種の内容については、スライド35の「用語の説明」を参照のこと。

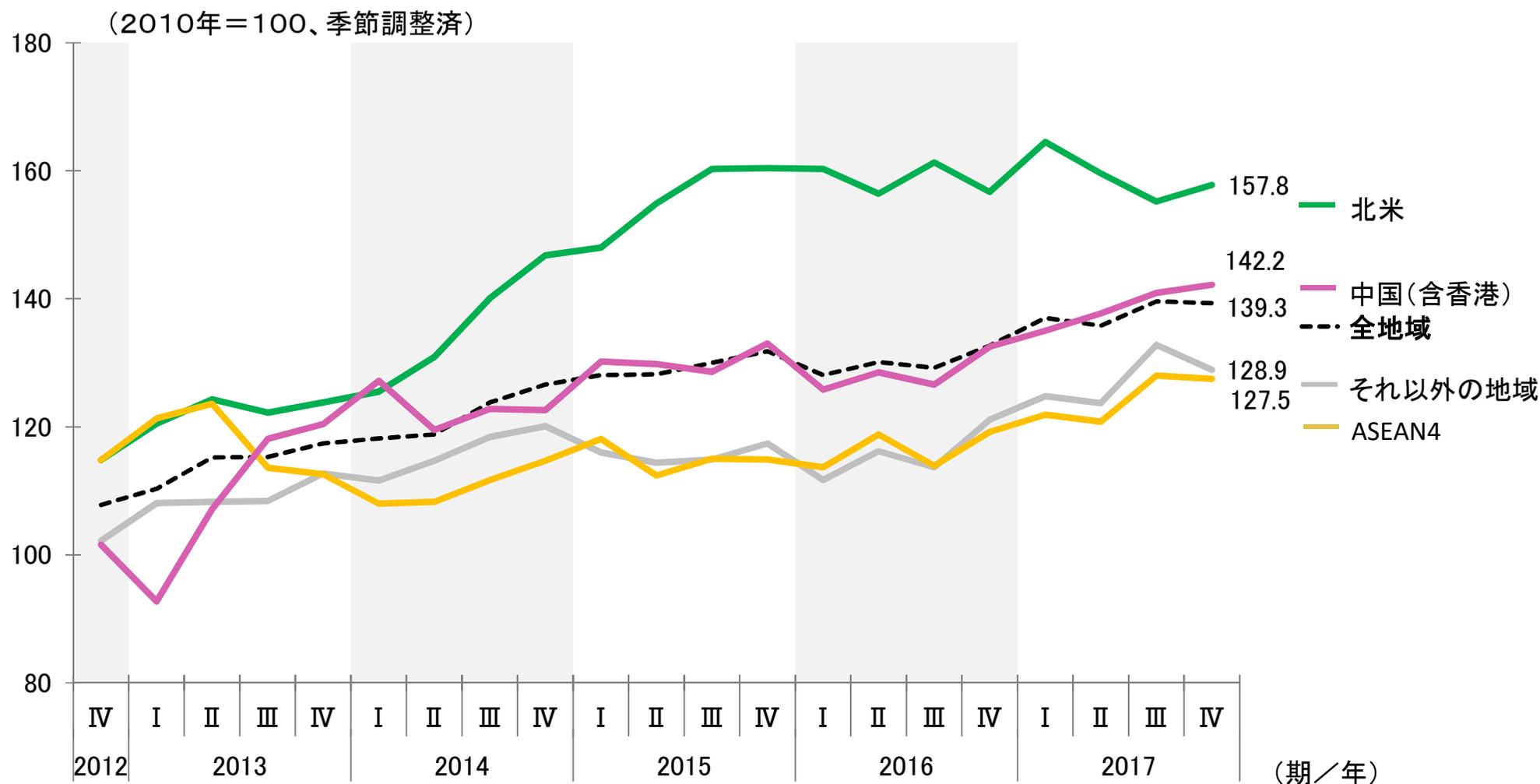
# 海外出荷指数の仕向け先別前期比寄与度

海外出荷全体の前期比マイナス0.2%低下に対し、「自国向け」がマイナス0.3%ポイントの低下寄与を見せた。



# 地域別海外出荷指数（季節調整済）の推移

2017年第Ⅳ期の地域別海外出荷指数では、北米（前期比1.7%上昇）、中国（同0.9%上昇）が前期比上昇。一方、ASEAN4（同マイナス0.4%低下）それ以外の地域（同マイナス2.9%低下）が前期比低下。



※海外現地法人四半期調査の売上高と輸入価格指数（財務省貿易統計）を用いて主要地域別のグローバル出荷指数（季節調整済）を算出。

# 海外出荷指数の地域別前期比寄与度

地域別海外出荷指数の前期比マイナス0.2%低下に対し、それ以外の地域がマイナス0.9%ポイント、ASEAN4がマイナス0.1%ポイントの低下寄与。一方、北米が0.5%ポイント、中国が0.2%ポイントの上昇寄与。

